

I 第15週の発生動向 (2010/4/12~2010/4/18)

1. インフルエンザについては、県全体の届出数は2人です。迅速診断キットによる型別は、弘前保健所管内においてA型:1人、B型:1人でした。
2. 水痘については、むつ保健所管内において**注意報**が発令されました。
3. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第3週から**警報**が継続しています。
4. 流行性耳下腺炎については、五所川原保健所管内において第14週から**注意報**が発令されています。

II 第15週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ			2	0.1									2	0.0	-1				
小児科 (74) RSウイルス感染症	6	0.7	4	0.4	1	0.1			3	0.5	1	0.3	15	0.4	-7			6	0.8
(75) 咽頭結膜熱	2	0.2	1	0.1							5	1.3	8	0.2	-2			2	0.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.3	8	0.9	7	0.8	8	1.6	10	1.7	8	2.0	53	1.3	15			12	1.5
(77) 感染性胃腸炎	95	10.6	66	7.3	21	2.3	4	0.8	45	7.5	29	7.3	260	6.2	25	4	4.0	91	11.4
(78) 水痘	4	0.4	10	1.1	6	0.7	1	0.2	11	1.8	26	6.5	58	1.4	16			4	0.5
(79) 手足口病															-1				
(80) 伝染性紅斑	9	1.0			3	0.3			9	1.5	3	0.8	24	0.6	6			9	1.1
(81) 突発性発しん	10	1.1	5	0.6	4	0.4			5	0.8	3	0.8	27	0.6	0	2	2.0	8	1.0
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															-1				
(84) 流行性耳下腺炎	11	1.2	3	0.3	3	0.3	15	3.0	3	0.5			35	0.8	-6	1	1.0	10	1.3
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎					2	1.0	3	3.0					5	0.5	2				
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					7	7.0					1	1.0	8	1.3	0				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注:届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患):八戸2人、上十三2人、五所川原1人、青森市1人

(22年計:75人)

(73) 麻しん(五類全数把握疾患):上十三1人(修飾麻しん)

(22年計:3人)

IV 病原体検出情報

・病原体情報はありませんでした。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

水痘

(五類定点把握)

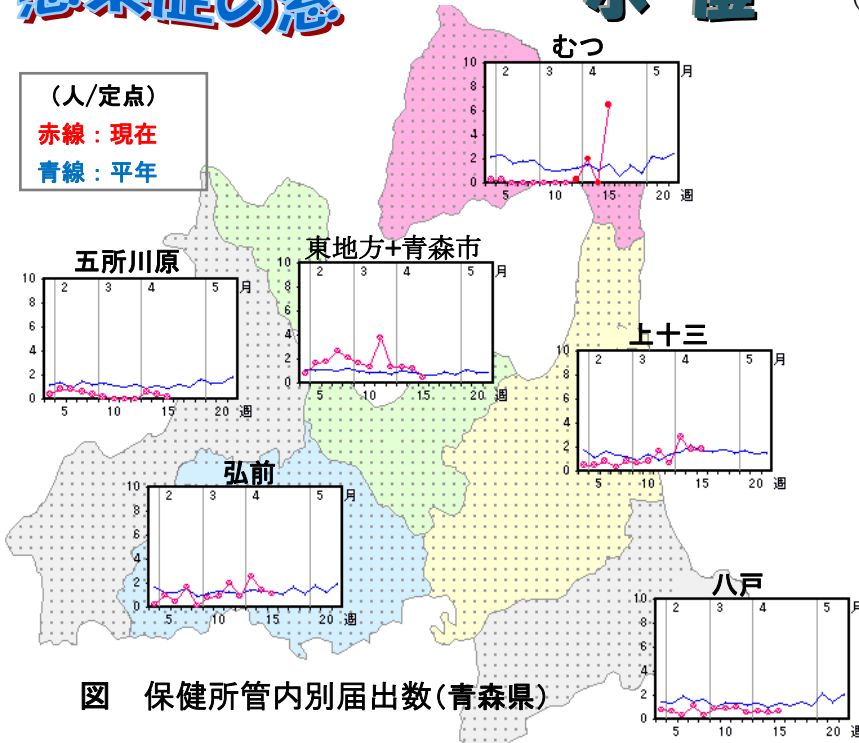


図 保健所管内別届出数(青森県)

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルスによって起こる感染症で、症状は、発疹と発熱です。発疹は、通常、紅斑から始まり、約3日のうちに紅色丘疹、水疱、痂皮へと進行します。現在、むつ保健所管内において急増しています。同保健所管内の年齢別では3歳代が最も多く58% (15/26)、2~4歳代では全体の73% (19/26)を占めています。感染は接触や飛沫により起こることから、流行している幼稚園、保育所などでは注意が必要です。疑わしい症状が現れた場合は早めに医療機関を受診してください。また、ワクチン接種(任意)については、最寄りの医療機関にご相談ください。